

令和6年度第4回成田市リサイクルプラザ運営委員会 会議録

1 開催日時

令和6年11月22日（金） 午前10時～11時30分

2 開催場所

成田市小泉344番地1

成田市リサイクルプラザ 2階 学習研修室

3 出席者

（委員）片岡委員長、長尾副委員長、伊地知委員、太田委員、大石委員、稲村委員、
内田委員、北崎委員

（事務局：クリーン推進課）坂上主幹、岩瀬主査、麻生課員

4 議題

- （1）フリーマーケット結果報告
- （2）視察結果報告
- （3）消費生活展について
- （4）リサイクル教室（布草履づくり）について
- （5）令和7年度事業計画（案）について
- （6）その他

5 議事（要旨）

（1）フリーマーケット結果報告について

委員長 議題（1）フリーマーケットについて、事務局から結果報告を。

事務局 日 時：令和6年10月13日（日）午前9時から午後2時

出 店：申込19店舗、キャンセル4店舗、当日出店15店舗

来場者：327名

出展者の車両は1台までと案内していたが、複数車両での参加があった。駐車可能台数の関係もあるため、次回はさらに注意を促す。

親子リサイクル教室（折り畳み式携帯電話分解教室）

午前6組、午後1組参加。ペッパー君も来場し、楽しみながら身近なレアメタルの発見を学んだ。

委員長 親子リサイクル教室は当初申込者が少なかったが、当日参加者が増えてよかった。

委 員 春に開催したフリーマーケットに比べて来場者が少なかった。考え得る要因は何か？

委員長 市内で他のイベントも多かった。陽気も良く、3連休の中日であったため、他にお出掛けした家族も多かったのではないかな？

委 員 日にち設定を工夫してはどうか？3連休の中日は避ける等。

事務局 工場の非稼働日でなければ開催できないため開催は日曜日に限られる。また再生品の販売を同日開催するため、小泉管理組合のスケジュール調整が必要。

副委員長 春・秋ともに委員の参加者が少なく、参加した人の負担が大きかった。なるべく委

員の皆さんには日程を調整して参加して欲しい。

委 員 定数の10名集められると良い。

委員長 来年度に向けて委員も定数集められるよう募集する。

委 員 春のフリーマーケット時は委員ではなかったためお客として来場した。とてもにぎわっており、こんなイベントがあったのだと知った。今回初めて委員として参加したが、品物の値段の付け方が難しいと感じた。

委 員 いかにも収益を出すかよりも、不要となったものを必要な人へ媒介することが重要であると思う。その意味では、値段はどのように設定しても良いと思う。いくらで販売するかよりも、より多くの人に再利用してもらえるかを考えた。

委員長 フリーマーケットの開催意義はそこにあると思う。不要となり廃棄されてしまうものを、必要としている人に使ってもらおう。その橋渡しをするのが、フリーマーケットなのではないかと考えている。

委 員 運営委員のブースで出している品物はどう集めているのか？

委員長 委員が持参している。また資源協同組合ブースの品物については、持ち込まれた廃棄物の中から、まだ使用できそうなものを取り出しておいて出品している。売り上げは全額社会福祉協議会に寄付している。

委 員 食品の販売はできないか？

事務局 以前は野菜を販売していた事例もあるが、加工品等は衛生上の問題があるため難しい。

委員長 農作物であれば検討も可能かと考える。

(2) 視察結果報告について

委員長 議題(2)視察について、事務局から結果報告を。

事務局 日 時：令和6年10月20日(日)

会 場：幕張メッセ国際会議場

エコメッセ千葉2024に一般参加(参加委員7名)

委員長 千葉県内の多くの企業や学校が参加していた。成田市の西陵高校ブースも拝見した。小さなお子さんの来場者も多く、各ブースのアイデアも参考になった。

副委員長 大人よりも子供向けのブースが多く目立っていたように感じる。西陵高校や千葉大学他たくさんのブースがあり、自分たちと同じ活動をしている団体も多かった。子供が参加できるブースが多く、良いイベントであると感じた。

委 員 様々なブースがあり、時間が足りなかった。今後の環境問題のためにも子供たちの参加が不可欠であると感じた。中でも江戸時代の循環型生活を展示しているブースに興味を持った。昔の生活と今の便利な生活を融合させて、未来に向けた活動をしていきたいと感じた。

委 員 環境に取り組む活動を発表するととても良いイベントであったと思う。少しずつでも地球を守るための活動を広げて、次の世代に伝えていきたいと感じた。広い会場の中では、自分一人では大きなことは成し遂げられないのではと痛感した。

委 員 以前は企業側の人間として環境問題対策に取り組んできたが、今は身近な部分の意識改革が重要と考えている。地区の集積所などを見ても、分別がなされていないことが多い。分別がきちんとされなければリサイクルもできない。分別がきちんとされれば、ごみも減量していく。委員会として正しい分別を推進するような活動があ

ってよいのではと思う。市民1人1人の意識改善が必要と感じる。

委員長 確かに企業として努力されているところは多いが、個人や子供に対する啓発活動が少ない。視察で見聞したことは今後の委員会活動に活かしていきたい。今回参加したイベントはぜひ成田市の子供たちにも参加してもらいたい内容であった。

副委員長 以前はリサイクルやごみの事に積極的に取り組んでいる学校もあったが、校長先生や担当の先生が変わってしまうと途絶えてしまう。我々が継続していかなければならないと考えてはいるが、あとを繋いでくれる人が不足している。

委員 行政主体ではなく、我々市民が主体でやっていかなければならないのだと思う。

委員長 小さな活動であっても続けることが大事と思う。今後も地道に啓発活動を続けていきたい。

(3) 消費生活展について

委員長 議題(3)消費生活展について、事務局から説明を。

事務局 日 時：令和7年1月18日(土) 午前：長尾副委員長、稲村委員

午後：太田委員、大石委員

1月19日(日) 午前：内田委員、北崎委員

午後：片岡委員長、伊地知委員

詳しい日程については、詳細案内が届き次第連絡する。

委員長 当日はパネル展示を行い、スタンプラリーに参加する。

(4) リサイクル教室(布草履づくり)について

委員長 議題(4)リサイクル教室(布草履づくり)について、事務局から説明を。

事務局 日 時：令和7年2月7日(金)

定 員：10名

募集記事は広報1月1日号に掲載予定。使用する紐の太さだが、8mmと10mmどちらが良いか？

副委員長 10mmだと太くて足裏に違和感がある。8mmが良いのではないかな？

委員長 太い方が芯がしっかりしてよい。8mmでは柔らかすぎる。

事務局 10mmで用意する。

(5) 令和7年度事業計画(案)について

委員長 (5)令和7年度事業計画(案)について、事務局から説明を

事務局 令和7年度の事業計画については別紙参照。

委員長 日程と併せて各教室の担当も決めたい。

令和7年6月13日(金)壊れた傘からエコバックづくり：◎稲村委員 ○内田委員

7月25日(金)布切れから帽子づくり：◎長尾副委員長 ○大石委員

8月23日(土)親子でハガキと小物入れづくり：◎片岡委員長 ○北崎委員

9月16日(火)着物から簡単作務衣づくり：◎太田委員、○伊地知委員

9月30日(火)着物から簡単作務衣づくり：◎太田委員、○伊地知委員

令和8年2月6日(金)布草履づくり：◎伊地知委員 ○内田委員

委員長 10月のフリーマーケットについては、3連休中日にあたるためスケジュールを再考したい。事務局で小泉管理組合と調整して欲しい。

事務局 承知した。

(6) その他

委員 リサイクルプラザ運営委員会に参加したきっかけは、成田市のごみ行政に興味があったため。委員会に参加してみると自分が考えていた活動とは異なるが、リサイクル教室等を通してリサイクルを啓発することがごみの減量に繋がることを学んだ。

学校でもごみ教室などを開催出来たら良いなと考えている。身近にできる活動を考えていきたい。

委員長 皆さんの貴重な意見を集めて、どんどん発信していきたい。

委員 委員として参加していながら、成田富里いずみ清掃工場や成田市リサイクルプラザを見たことが無い。見学は可能か。

事務局 可能である。次回委員会終了後に、市施設を案内する。

6 傍聴 なし

7 次回開催日時(予定)

令和7年3月7日(金) 10時から